


“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	平成30年度「管内生涯スポーツ担当者等研修会」
期 日	平成30年6月14日（木）
参加者	25名
日 程	<p>(1) 開会行事 13:20～13:35</p> <p>(2) 説明 13:35～13:45 「本研修会の趣旨及びスポーツボランティアの現状」 福岡県教育庁福岡教育事務所社会教育室 社会教育主事</p> <p>(3) 実践発表 13:45～14:15 「地域におけるスポーツボランティアの活用と今後の課題」 宗像市市民協働環境部文化スポーツ課 主任主事 濱本 健 氏</p> <p>(4) 講話 14:15～15:30 「スポーツボランティアの可能性と地域における人材の発掘・育成に向けた考え方」 西九州大学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科 准教授 山田 力也 氏</p> <p>(5) グループ協議 15:40～16:25 「スポーツを『支える』楽しさを地域に広げていくために」</p> <p>(6) 講評 16:25～16:35 西九州大学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科 准教授 山田 力也 氏</p> <p>(7) 閉会行事 16:35～16:40</p>
活動の 実際	<p>【実践発表】</p> <p>宗像市文化スポーツ課の濱本主任主事に、地域におけるスポーツボランティアの活用と今後の課題について、実践発表をしていただきました。「市民が支える」「市民とつくる」「市民が育つ」をキーワードに、宗像地区の大規模なイベントである「プリンセス駅伝 in 宗像・福津」の事例を中心にお話していただきました。ボランティアの方々の多くは、様々な団体からの動員によって参加しているようです。しかし、実際にボランティアを行った方から「たまたま動員されたが、やってみると楽しかった」などの感想を聞いたという話がありました。その背景には、運営側が、トップアスリートを目の前で見られる高揚感や何かの役に立っているという充実感をボランティアの方々に感じてもらえるように活動内容を仕組んでいることが効果的に働いていると感じました。参加者は熱心に耳を傾け、その後、活発な質疑応答も行われました。</p> <div data-bbox="963 1301 1481 1653" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">〈実践発表の様子〉</p>

<p>活動の 実際</p>	<p>〔講話〕</p> <p>西九州大学の山田力也先生に、「スポーツボランティアの可能性と地域における人材の発掘・育成に向けた考え方」というテーマで、様々な調査結果から得られた今後の展望についてお話いただきました。具体例を交えながら、「ボランティア組織をつくっていくためには、スポーツイベントが大きなきっかけになること」、「ボランティアは口コミで増えていくので、『やってよかった』と思える活動を仕組むこと」、「登録者へのインセンティブ（スタッフジャンパーや帽子などの物品や行事の特典）を必要経費として計上し準備すること」など、今後大切にしていくことを具体的にご示唆いただきました。最後には、「互恵性」「適材適所」「共生」という3つのキーワードでまとめていただき、たいへん意義深いお話を聞くことができました。</p> <p>〔グループ協議〕</p>  <p>〈グループ協議の様子〉</p> <p>「スポーツを支える楽しさを地域に広げていくために」というテーマで、グループに分かれて協議を行いました。はじめは、実践発表、講話を受けたの感想を交流し、その後、「地域やクラブでスポーツを支える楽しさを広げていくために何ができるか」を協議しました。スポーツボランティアの分野については、これまで十分に検討できていない市町が多いという現状をもとに、「ボランティアが必要になるくらいのイベントをつくる」「まずは地区でボランティアを組織できないか」など、前向きな意見が交わされていました。</p>
<p>全体をと おして</p>	<p>本研修会には、管内各市町のスポーツ担当者だけでなく、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ関係者など多様な立場の方々の参加がありました。感想の中には、「ボランティアについての考え方が変わった」「まずは、自分自身がボランティアとして参加してみたい」「今後、ボランティアさん一人ひとりを大切にしたい」「次のボランティアさんに協力してもらいたいイベントでは、何かしらの特典（インセンティブ）を準備できるよう検討したい」などの記述がありました。今回の研修が、それぞれの所属での今後の実践につながるきっかけになることを願っています。</p>
<p>その他</p>	<p>特になし</p>



〈講話の様子〉



〈グループ協議の様子〉